



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release 2024.3/27

硅砂組 個展 「4,400,000,000yrs-10min-1/1000s」 開催のご案内 *Keisagumi photo, glass and stone exhibition*

このたび、ギャラリーヘプタゴンにて、アートユニット硅砂組（けいさぐみ）個展「4,400,000,000yrs-10min-1/1000s」を開催いたします。

硅砂組はこれまで自らの足で日本各地へ赴き鉱物や岩石を集め、ガラスと共に作品制作を行ってきました。今回 KG+^{*1}に参加するにあたり、作品制作と同時に行ってきた写真撮影の方をメインに”記録”という概念を軸に写真とガラスと鉱物を合わせた展覧を行います。この機会にぜひご覧くださいませ。

※KG+は、これから活躍が期待される写真家やキュレーターの発掘と支援を目的に、2013年よりスタートした公募型アートフェスティバルで、2024年に12回目を迎えます。京都から新たな才能を世界に送り出すことを目指し、意欲ある参加者を広く募集して展覧会を開催いたします。今年は100以上の展覧会が京都市内各所で開催されます。京都市内に点在する黄色い旗が目印となり、地域・来場者・作品を繋げ、新たな発見や交流を創出します。ギャラリーに限らず、カフェや寺社仏閣、屋外など様々な会場を舞台に展開されています。(KG+ウェブサイトより)

—— ステートメント ——

地殻変動、噴火、堆積、地震、洪水。

地球最古とされる石が生成されてから 4,400,000,000 年間、石は途方もない地球の変動を記録し続けている。

石を探し山野や水辺を歩く硅砂組は、各地の風景とその一部の形状を記録している。シャッターが開き、閉じるまでの 1/1000 秒間、カメラのセンサーは光を記録する。岩に押し付けた熱可塑性樹脂が冷え固まるまでの 10 分間、樹脂は形を記録する。そして、光の記録は写真に、形の記録はガラスになる。

硅砂組は持ち帰ることのできない光と形を記録し、石に流れる時の記録を辿る。記録とは何かと問い続けながら。

本展は、光の 2 次元的記録、形の 3 次元的記録、時の 4 次元的記録を通じて、現象・物質・時間の関係を考察し、写真とガラスと石の在りようを探求するものである。

※ 現在、豪ジャック・ヒルズで発見されたジルコン粒子が、44 億年前の地球最古の岩石鉱物とされている。

【展覧会詳細】

会期 | 2024 年 4 月 27 日 (土) ~ 5 月 6 日 (月)

時間 | 12:00 ~ 18:00

休廊日 | 5 月 2 日 (木)

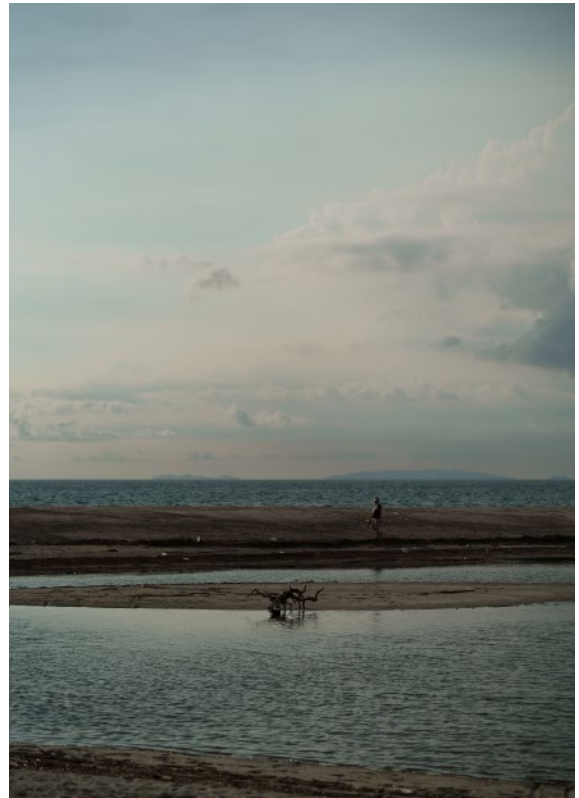
会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



【Work】



【Profile】

硅砂組 keisagumi

2019年より、田上拓・田上恵美子によるユニットとして活動開始。

■受賞・入選歴

2019：国際ガラス展金沢 金賞受賞

2020：北近江サケガラス展

2022：伊丹国際クラフト展～酒器酒盃台～
国際ガラス展 金沢

2023：伊丹国際クラフト展～ジュエリー～

「New Glass Review 43」掲載（コーニングガラス美術館 USA）

大阪、京都、東京、北海道、岡山などで、個展・グループ展開催。

■ユニットメンバー

・田上拓／TANOUE, Taku

2015：京都工芸繊維大学機械システム工学課程卒業

2015：京都現代写真作家展

2021：北近江サケガラス展

#美術工芸品の写真撮影の他、レンズの改造業も手掛ける。

・田上恵美子／TANOUE, Emiko

1978：立命館大学文学部哲学科卒業

1996：伊丹クラフト展（以降'97, '00, '03, '04）

2002：日本現代ガラス展 能登島

2003：KOGANEZAKI 現代ガラス展（以降'06）

2004：GLASS CRAFT TRIENNALE 大賞受賞

2005：現代ガラス大賞展 富山

2006：日本ジュエリーアート展

2008：京都工芸ビエンナーレ

2014：日本クラフト展

2018：日本伝統工芸近畿展（以降'00, '21, '23）

※制作に用いる鉱物および岩石は、メンバー自身が日本各地の山や川、海におもむき集めたもの。



硅砂組 instagram

